

◆「LRRIメルマガ」2023年2月号◆

★個人会員のお申し込みを戴きました

常田賢一顧問（前・（一財）土木研究センター理事長）から、個人会員のお申し込みをいただき、2月9日（木）の理事会（役員会）で了承されました。

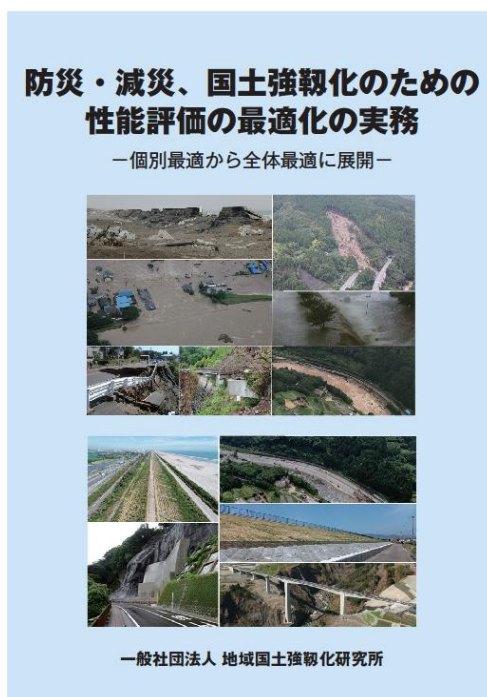
★「土木技術資料」（令和5年2月号）が届いています

興味深い記事が満載です。ご関心のある方は、事務局（staff@lrri.or.jp）までご一報ください。

★“性能設計”に関する書籍の販売を開始します

常田賢一顧問（前・（一財）土木研究センター理事長）著による、インフラの“性能設計”に関する書籍「**防災・減災、国土強靱化のための性能評価の最適化の実務－個別最適から全体最適に展開－**」をLRRIから出版します。多くの賛助会員様に加えて個人会員ご所属の機関からも広告（技術資料）を掲載させていただいています。令和5年3月出版予定です。ご期待ください。なお、目次を含めた書籍の概要はHPにも掲載していますのでご一読ください。

【新刊書の御案内（表紙）】（再掲載）



★「役員&会員だより」令和5年2月号をお届けしました

令和5年2月号は小浪岳治理事に執筆いただきました。タイトルは『防衛予算から考える「このくにのかたち」』です。皆様が共通して抱かれている思いが強く伝わってくる内容です。HP（<https://lrri.or.jp/>）に

もアップしていますので是非ご一読ください。なお、賛助会員・個人会員の皆様のご投稿も随時受け付けています。

★「エルリ塾」は順調です

令和4年度は「エルリ塾」として、a.「基礎地盤・土構造物講座」第5回目が令和5年2月8日オンラインで開催されました（演題：「インフラストラクチャのモニタリング」、丸山 泉講師担当）。15名の方々全員がご参加です。第5回目は3月8日です（演題：「地盤と構造物の支持力と沈下」、安原一哉講師担当）。「ICRT & DX 講座」も1月31日に第3回（演題：「要素技術各論(1)：データベース技術と空間情報」、中村健太郎講師）を終了いたしました。第4回（演題：「要素技術各論(2)：ネットワーク技術と情報プラットフォーム」、須田裕之講師担当）は2月28日の予定です。

★気候変動適応策に関する受託業務が終了しました

茨城大学から受託した「環境省プロジェクト S18 に関連する気候変動適応策の調査に関する業務」は、関係の皆様のご協力のお陰で、順調に進み、去る令和5年1月31日に「報告書」を提出しました。「報告書」以外に以下のものを提出しています。

- ・「個票」：我が国における、中央政府、地方自治体及び民間事業者による気候変動適応策に関する484件の施策や技術が紹介されています。（分析対象は、442件ですが、LRRI分6件を含めて合計448件が紹介されています。）
- ・「適応策一覧表」：「個票」の内容を示すデータベースの形になっています。
- ・「追記集」：集約した政策や技術のうち、特記すべきもの37件を選び、「個票」の内容より少し詳しく紹介しています。

なお、本件の成果を4月以降に、委託戴いた三村信男茨城大学名誉教授が代表を務めておられる環境省 S18 プロジェクト (<https://s-18ccap.jp/>) のコアメンバーの方々に内容を紹介し、議論をさせて頂く予定です。その後、LRRI 会員の方々にもご紹介する予定です。ご期待ください。

★「第3回技術者講座」を計画中です

令和5年5月18日と25日に、（一財）土木研究センター様と共催で、標記の講座を開講します。総合タイトルは、「インフラ強靱化に関する最近のトピックス」の予定です。土木研究センター様から2課題、LRRI から2課題提供する予定です。詳細が決まりましたら再度ご案内いたします。

★地盤品質判定士会神奈川支部様が土木学会メンテナンス賞を受賞！

本年2月20日付けで、土木学会2022年度インフラメンテナンス賞の発表がありました。その中に、本法人と共に「E&E・防災セミナー」を主催するなど関係が深い（一社）地盤品質判定士会 神奈川支部（代表 立花秀夫支部長）が、自治体と連携した「宅地地盤相談会」や市民参加型の「防災セミナー」等により、インフラメンテナンス チャレンジ賞に選出されました。

(<https://inframaintenance.jsce.or.jp/hyousyou/announcement2/>)